

麻 醉 科 学 (F2)

オーガナイザー

麻醉科 川股 知之

I 一般学習目標

- (1) 生理学と薬理学を基盤に、手術に伴う外科的侵襲の制御と手術中の生体の恒常性維持の必要性およびその方法を理解する。
- (2) 麻醉管理を術前・術中・術後管理からなる周術期管理として理解する。
- (3) 急性・慢性の痛みの機序と鎮痛法を理解し、さらに、癌性疼痛の治療法を理解する。

II 個別学習目標

1. 術前麻醉管理として、術前評価、術前処置、麻醉前投薬を説明できる。
2. 吸入麻醉薬の薬理作用と薬物代謝および麻醉の実際を説明できる。
3. 静脈麻醉薬の薬物作用と薬物代謝および麻醉の実際を説明できる。
4. 筋弛緩薬とその拮抗薬の薬物作用と薬物代謝および麻醉の実際を説明できる。
5. 麻醉導入法と維持法について説明できる。
6. 気道確保法と呼吸モニターについて説明できる。
7. 外科手術および全身麻醉が呼吸生理に及ぼす影響を説明できる。
8. 麻醉中の人工呼吸管理法について説明できる。
9. 麻醉中における循環動態の変化を生理学的に説明できる。
10. 循環モニタリングについて理解し、生体情報の解析と管理について説明できる。
11. 手術中の輸液・輸血管理について説明できる。
12. 手術の体温管理について説明できる。
13. 一般的な全身麻醉の合併症とその予防法について説明できる。
14. 局所麻醉薬の薬理作用と各種局所麻醉法について説明できる。
15. 脊髄くも膜下麻醉・硬膜外麻醉による呼吸・循環および代謝系に及ぼす影響について理解でき、利点・欠点について説明できる。
16. 各外科の手術に対する特殊麻醉法について説明できる。
17. 痛みの病態生理を理解し、ペインクリニック・緩和ケアにおける疼痛管理を説明できる。
18. 合併疾患の病態と麻醉の関連を理解し、適切な麻醉法の選択について説明できる。

III 講義項目と担当者

1. 麻醉学 総論	麻醉科	川股
2. 麻醉と痛み	麻醉科	川股
3. 吸入麻醉	麻醉科	川股
4. 静脈麻醉	麻醉科	川股
5. 局所麻醉と区域麻醉	麻醉科	川股
6. 筋弛緩薬	麻醉科	川股
7. 麻醉と呼吸①	麻醉科	水本
8. 麻醉と呼吸②	麻醉科	水本
9. 循環・輸液・そのモニター①	麻醉科	木本
10. 循環・輸液・そのモニター②	麻醉科	木本
11. 術前診察と周術期管理	麻醉科	川股
12. 各科麻醉① (心臓外科・脳外科・呼吸器外科)	麻醉科	藤井
13. 各科麻醉② (産科・小児科)	腫瘍センター	栗山
14. 麻醉科とサブスペシャリティ	腫瘍センター	栗山

IV 評価法

期末試験 80% と出席 20% で評価する。

V 推薦テキスト及び参考書

1. 標準麻醉科学	医学書院	本体	5,200 円
2. TEXT 麻醉・蘇生学	南山堂	本体	7,200 円

講義日程表

麻酔科学

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担 当
1	H30.1.23	(火)	1	総論	麻酔科	川股
2	H30.1.26	(金)	2	吸入麻酔	麻酔科	川股
3	H30.1.26	(金)	3	静脈麻酔	麻酔科	川股
4	H30.1.30	(火)	1	局所麻酔薬	麻酔科	川股
5	H30.2.2	(金)	2	麻酔と呼吸1	麻酔科	水本
6	H30.2.2	(金)	3	麻酔と呼吸2	麻酔科	水本
7	H30.2.6	(火)	1	筋弛緩薬	麻酔科	川股
8	H30.2.9	(金)	2	循環・輸液・そのモニター1	麻酔科	木本
9	H30.2.9	(金)	3	循環・輸液・そのモニター2	麻酔科	木本
10	H30.2.13	(火)	1	特殊な麻酔(心臓、大血管、肺、脳)	麻酔科	藤井
11	H30.2.16	(金)	3	産科・小児麻酔	麻酔科	栗山
12	H30.2.27	(火)	1	術前評価	麻酔科	川股
13	H30.3.6	(火)	1	麻酔科とサブスペシャリティー	麻酔科	栗山
14	H30.3.13	(火)	1	麻酔と痛み	麻酔科	川股